

蕨駅西口地区市街地再開発事業の公共公益施設の方針について

市の最上位計画である「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンでは、将来構想において、蕨駅周辺を「都市機能の核」として位置づけ、土地の有効活用を図りつつ、交通拠点機能や商業業務機能なども高めながら、まちの顔としてイメージアップにつなげて、「にぎわい」の空間づくりを進めていくこととしています。

その実現に向けて、蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業では、「蕨の玄関口の再生と魅力づくり」を目的とし、住宅施設、商業業務施設、公共公益施設による建物の整備と、駅前広場の再整備、蕨駅西口7番街区に連続するプロムナードの整備など、魅力ある空間の整備を一体的に進めていく予定です。

そのうち、「公共公益施設」については、「にぎわいの創出」、「駅前立地への適性」、「蕨らしさ・まちへの愛着」、ランニングコストを含めた「財政負担」などの観点から調査、検討を行い、その方針について次のとおりまとめました。

1 公共公益施設の位置及び床面積

公共公益施設については、蕨駅西口再開発地区のなかで、下図に示す、Bエリアの再開発建物の3階に位置し、その床面積については、市が所有する従前の資産を踏まえ、概ね2,000～2,200平方メートルを想定しています。



都市計画変更（案）における建物等配置図より

2 公共公益施設の内容

公共公益施設の内容については、「図書館」及び「行政センター」の複合施設としています。

「図書館」は、子どもから高齢者まで幅広い市民の利用が見込まれ、にぎわいを生み出す効果や、駅前立地の適性があること、また、近い将来に想定される現施設の大規模改修などの財政負担や、長期間の休館に伴う市民への影響を考慮し、総合的に優れていると判断したものです。

また、「行政センター」については、市庁舎が現在地で建替えの方針となったことから、市民のニーズ、利便性を考慮して再開発事業において整備を図るものです。

(1) 図書館

①趣旨

多くの市民が利用する図書館を利便性の高い駅前に整備することで、利用者数の増とにぎわいの創出が期待できます。また、現施設と比べ、開架書庫や閲覧・学習スペースなどの市民が実際に利用できるエリアの拡大が可能となります。

②機能概要

開架書庫、閲覧・学習スペース、集会室、その他（閉架書庫、事務室等）

(2) 行政センター

①趣旨

市民の利用頻度の高い市役所の一部業務を取扱う窓口などを駅前に整備することで、駅利用者なども含めて市民の利便性が向上します。

②機能概要

各種証明書（住民票、戸籍謄・抄本、印鑑登録証明等）の発行や転入・転出等の住民異動に伴う手続きなどを取扱う窓口等